

はじめに

平素より、当事業団が実施しております各種の健診検査事業の実施にあたりましては、格別の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当事業団は、公益財団法人として栃木県の公衆衛生の向上に寄与することを目的として、県民の疾病予防や健康の保持増進を図るための健診・検査や生活環境保全のための各種検査等を実施するとともに、これら予防医学分野に関する知識の普及啓発活動等を積極的に推進しているところです。

平成28年度は、栃木県のがん対策推進計画や健康長寿とちぎづくり推進条例及び国が策定したがん対策加速化プランにおいて重要視されている精密検査受診率の向上などを踏まえ、県の施策と連携しながら、県民の健康に関する意識の向上や健診受診率の向上など事業の一層の充実に取り組んでまいりました。

普及啓発事業では、テレビ、ラジオ、新聞や駅構内の広告などマスメディア等を活用した検診の普及啓発活動の継続や、「がん検診啓発セミナー」を開催したほか、各種イベント等に参画し、県民のがん予防や生活習慣病予防等への関心を高め、健康に関する意識向上に寄与する事業を推進いたしました。さらに、がん検診事業の適正な評価へと繋げるため、栃木県立がんセンターと協力して運営している「栃木県がん集検協議会」において、市町及び県内のがん検診実施機関で構成される「精度管理部会」の事務局として参画し、がん検診の質の向上やがん発見率の向上に努めました。

住民健診において、受診案内の提案・作成等と併せて事業団が独自に開発した「インターネット健診予約サイト」の活用などにより、平成27年度に引き続き特定健康診査の受診者が前年度の実績を上回りました。また、事業所健診において、大手事業所の健診の新規受託や労働安全衛生法の改正によるストレスチェックの義務化に伴い事業計画以上の受託に対応いたしました。

機器等の整備では、特に、検診車等のX線装置のデジタル化を平成17年度から進め、デジタル画像の処理のためなどのソフトウェアも計画的に整備し、平成28年度の胸部及び胃検診車の更新をもって、全てのX線装置が12年間を経てデジタル化となりました。

今後も、県民や受診団体等のニーズに的確に応えながら、信頼される精度の高い健診・検査事業を推進するとともに、健診・検査データに基づく調査・研究を継続し、県民に向けて健康に関する情報を広く発信するなど、公益財団法人としての役割を果たすため県民の健康保持増進に貢献してまいりますので、引き続き御支援、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、このたび、「平成28年度事業年報」として当事業団の事業内容や実績等をまとめましたので、皆様の保健活動等の一助として御活用いただければ幸いです。

平成30年2月

公益財団法人栃木県保健衛生事業団
理事長 植木 恵 二